



道づくりだより



169
2024.2-3

山陰道 大田中央・三瓶山IC～仁摩・石見銀山IC間が開通しました！

～ Contents ～

- | | | |
|---|---------------------|---------|
| 1. 山陰道大田中央・三瓶山IC～仁摩・石見銀山IC間が
令和6年3月9日に開通しました | 高速道路推進課 | ... P.1 |
| 2. 安全で快適な通行空間を確保・道路の防災性の向上！
(国道432号 古志原工区完成) | 道路建設課
松江県土整備事務所 | ... 3 |
| 3. 幡屋農道（雲南市）が全線開通しました！ | 農村整備課 | ... 4 |
| 4. 浜田港 福井・長浜地区臨港道路
バイパス整備をおこなっています | 港湾空港課
浜田港湾振興センター | ... 6 |
| 5. 西郷漁港 臨港道路
『港橋』の耐震補強工事を行っています | 水産課
隠岐支庁農林水産局漁港課 | ... 7 |
| 6. 全国街道交流会議第13回全国大会山陰大会が開催されました | 道路建設課 | ... 8 |
| 7. 「道路ふれあい月間」推進標語を募集します | 道路維持課 | ... 9 |



山陰道 大田中央・三瓶山IC～仁摩・石見銀山IC間が 令和6年3月9日に開通しました



高速道路推進課

このたび、山陰道 大田中央・三瓶山IC～仁摩・石見銀山IC間が、令和6年3月9日(土)に開通しました。この区間の開通により、県内の山陰道の開通率は66%から72%まで上昇し、主要都市間の所要時間の短縮及びダブルネットワークによる緊急時の信頼性確保などの効果が期待されます。

この日に、大田市民会館において開通式典が、大田静間ICにおいて祝賀行事がそれぞれ開催され、高見康裕 衆議院議員、青木一彦 参議院議員、舞立昇治 参議院議員、三浦 靖 参議院議員をはじめとした来賓及び関係者が集まり、本区間の開通を祝いました。

開通式典では、主催者側を代表して、堂故 茂 国土交通副大臣、丸山達也 島根県知事、楫野弘和 大田市長が挨拶され、丸山知事は、挨拶の中で祝辞に加え「山陰道を最大限活用し、企業誘致や産業の振興、観光誘客など、地域の取組や広域的な連携の強化を図っていく」と述べられました。

〈開通式典・祝賀行事の様子〉



堂故 茂 国土交通副大臣



丸山達也 島根県知事



〈祝賀行事〉 テープカット・くす玉開披

山陰道 大田中央・三瓶山IC～仁摩・石見銀山IC間の 開通プレイベントの様子

山陰道 大田中央・三瓶山IC～仁摩・石見銀山IC間の開通に先立つ記念行事として、令和6年2月24日（土）にこいせ仁摩を主会場としたプレイベントが開催されました。こいせ仁摩には、約2200人の方々が来場し、地元の特産品販売や神楽などのステージイベントで大いに盛り上がりました。

また、本線上ではサイクリングやマラソン・ウォーキングなどが行われ、参加された約1400名の方々は、山陰道から見える景色を楽しみました。



〈プレイベントの様子〉



〈本線上イベント〉マラソン



〈本線上イベント〉サイクリング



〈こいせ仁摩〉実行委員会会長挨拶



〈こいせ仁摩〉展示パネル

安全で快適な通行空間を確保・道路の防災性の向上！ (国道432号 古志原工区完成)

国道432号は、広島県竹原市を起点とし、奥出雲町、安来市広瀬町を経由し、松江市に至る路線であり、山陰と山陽を結ぶ重要な路線であるとともに、地域住民の日常を支える道路です。

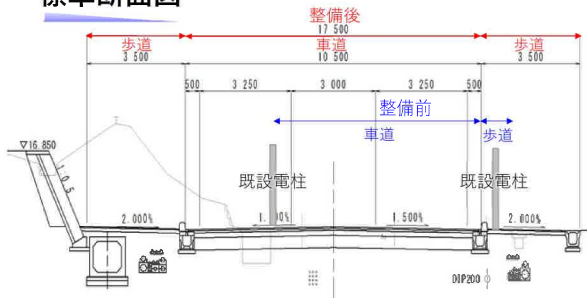
国道432号は、車両の通行が1日あたり12,000台程度にまで達しており、朝・夕に渋滞が発生している状況に加え、歩道が狭隘であるため、歩行者や自転車の通行に支障となっていました。

このため、平成23年度より古志原工区として道路改良事業に着手し、自転車歩行者道の整備と併せて電線共同溝の整備を行っていましたが、令和5年11月に全線供用しました！

位置図



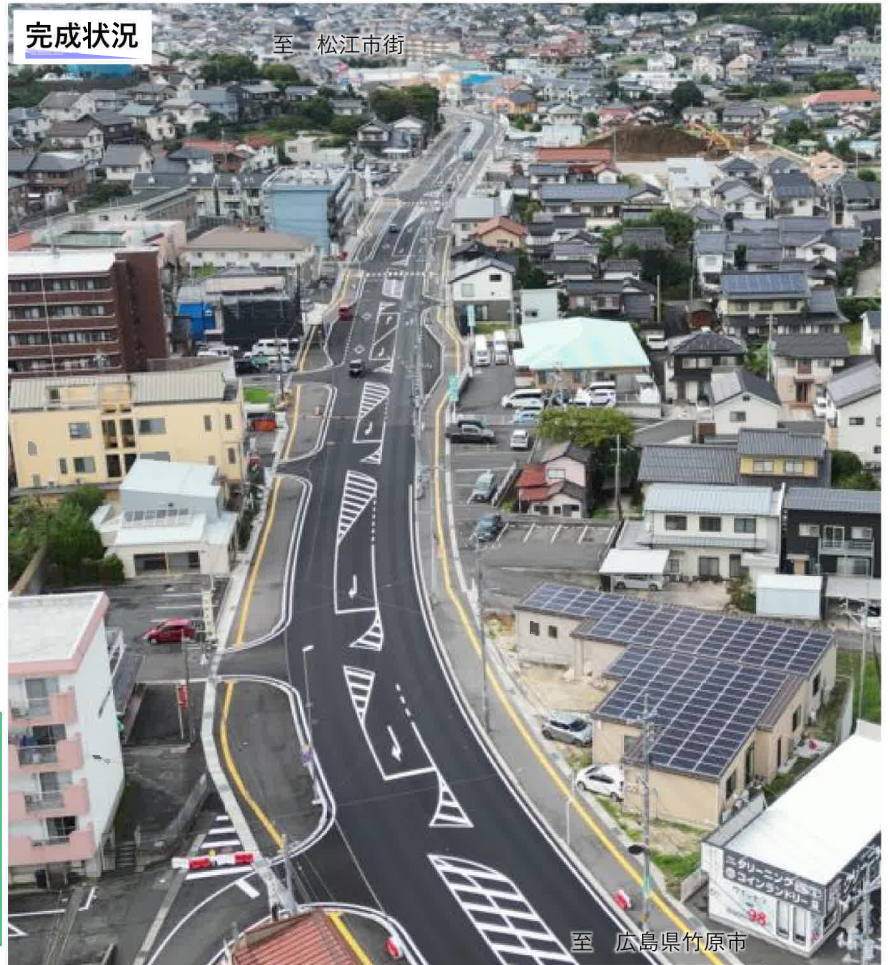
標準断面図



電線共同溝とは？

「電線共同溝」とは、電線の設置及び管理を行う2以上の者の電線を収容するため、道路管理者が道路の地下に設ける施設であり、道路上にある電柱や電力線、通信線を地下に収容することにより、快適な歩行空間の確保、景観の向上を図ることを目的としています。

完成状況



Before: 歩道が狭隘で危険

- 近隣に学校や幼稚園が立地し、歩行者、自転車交通量が多いが、歩道が狭隘で危険な状況
- 緊急輸送道路に指定されており、電柱倒壊による道路閉塞の防止が必要



After: 安全・安心な道へ

- 電線共同溝の整備により、通学する児童・生徒の安全と共に誰もが安全で利用しやすいバリアフリーの歩行空間を形成
- 災害時に電柱倒壊を防ぎ、緊急輸送道路の通行機能を確保

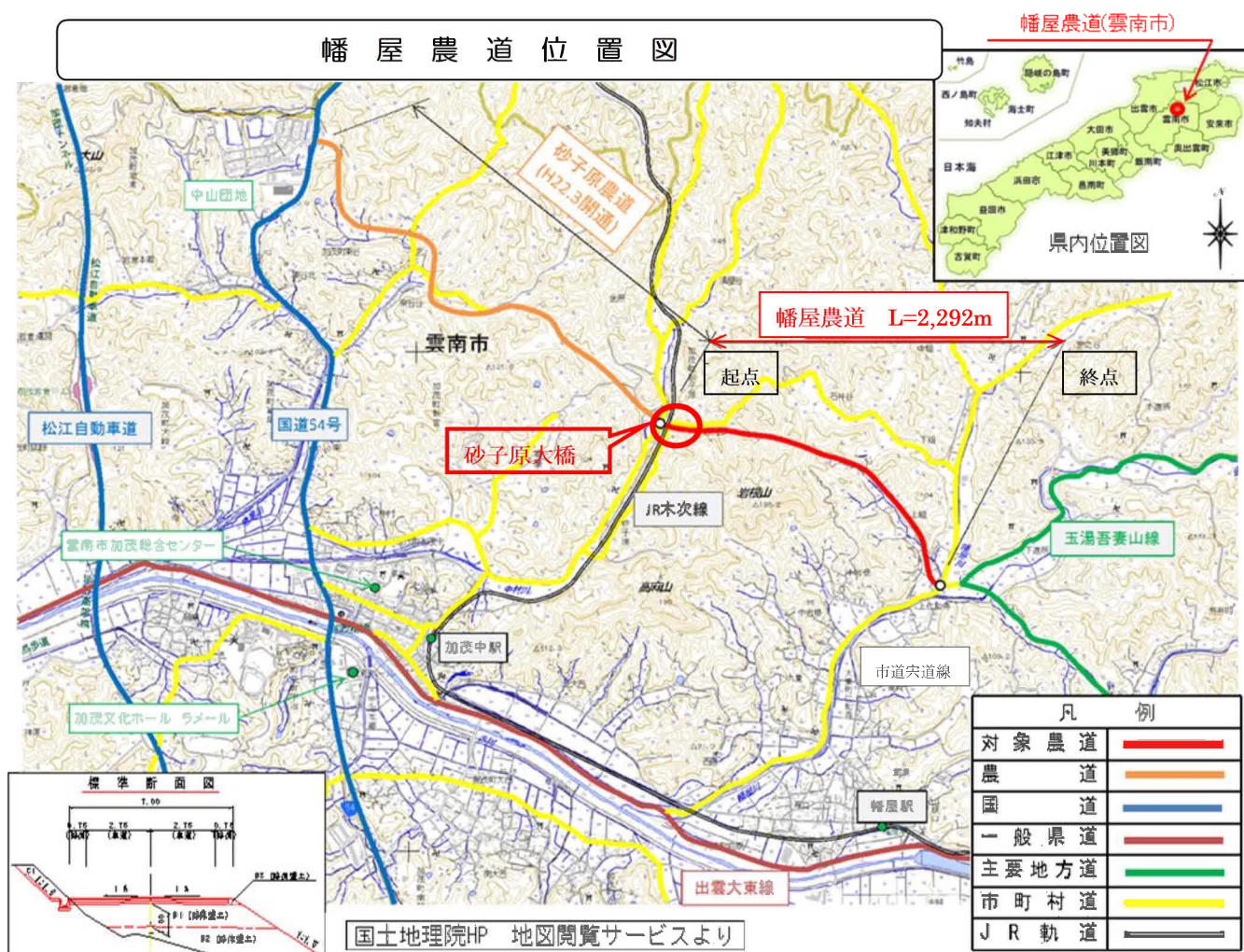


幡屋農道（雲南市）が全線開通しました！

幡屋農道は既設の砂子原農道と接続し、雲南市の加茂町砂子原から大東町仁和寺を結び基幹農道です。集落内の営農、農業施設や市場への効率的な輸送を図るために平成23年度から整備を進めてきましたが、令和5年12月竣工の工事をもって完成し、開通しました。

この農道が開通することで、国道54号と雲南市大東町幡屋地区が約8分で結ばれ、出雲・松江方面との交通アクセスが改善されることから、営農者のみならず、地域住民にとっても生活環境の向上を図ることができました。

幡屋農道位置図



12月23日（土）には地元関係者主催による竣工式が開催され、石飛雲南市長をはじめ50名近い関係者が出席し農道の完成を祝いました。主催者代表の挨拶では「この新しい農道が、地元の農業やコミュニティにとって一層の発展と繁栄をもたらすことを願うとともに、地域の協力とご支援に感謝しています。」と述べられ、改めて農道に対する大きな期待を実感しました。



雲南市長挨拶



来賓挨拶（雲南県土事務所長）



砂子原大橋（JR 木次線と立体交差）



農道終点側の完成状況（大東町仁和寺地内）

幡屋地区の概要

事業名	： 農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 通作条件整備 基幹農道整備
地区名	： 幡屋
工期	： 平成23年度～令和5年度
延長	： L=2,292m
幅員	： 全幅員 7.0m、車道幅員 5.5m
橋梁	： 砂子原大橋（L=114m）

浜田港 福井・長浜地区臨港道路 バイパス整備をおこなっています

○事業の概要

浜田港は島根県唯一の国際貿易港として、古くから長浜地区での木材輸入を中心に発展してきました。平成に入ると、福井地区の整備が進み、平成13年からは国際定期コンテナ航路が開設されるなど、多くの企業の皆様に利用されています。

現在、福井地区と長浜地区を結ぶ物流ルートは最短ルートである県道浜田商港線が1車線の狭小道路で大型車両の通行が出来ないため、国道9号線を迂回する非効率な輸送形態となっています。

このため、海側に新たなバイパス道路を整備し、港湾貨物の効率的な輸送と県道沿線の安全を確保します。令和元年度に事業着手し、令和4年度から工事着手しました。現在は起点側から鋭意工事を進めており、令和10年度の完成を目指しています。

工事中は、ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



狭小で危険な県道浜田商港線

西郷漁港 臨港道路

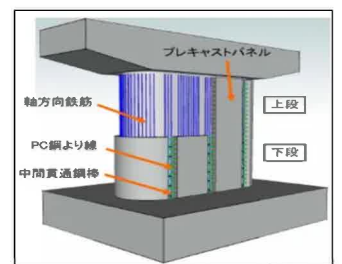
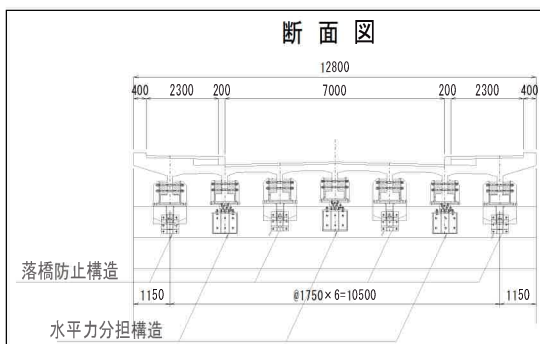
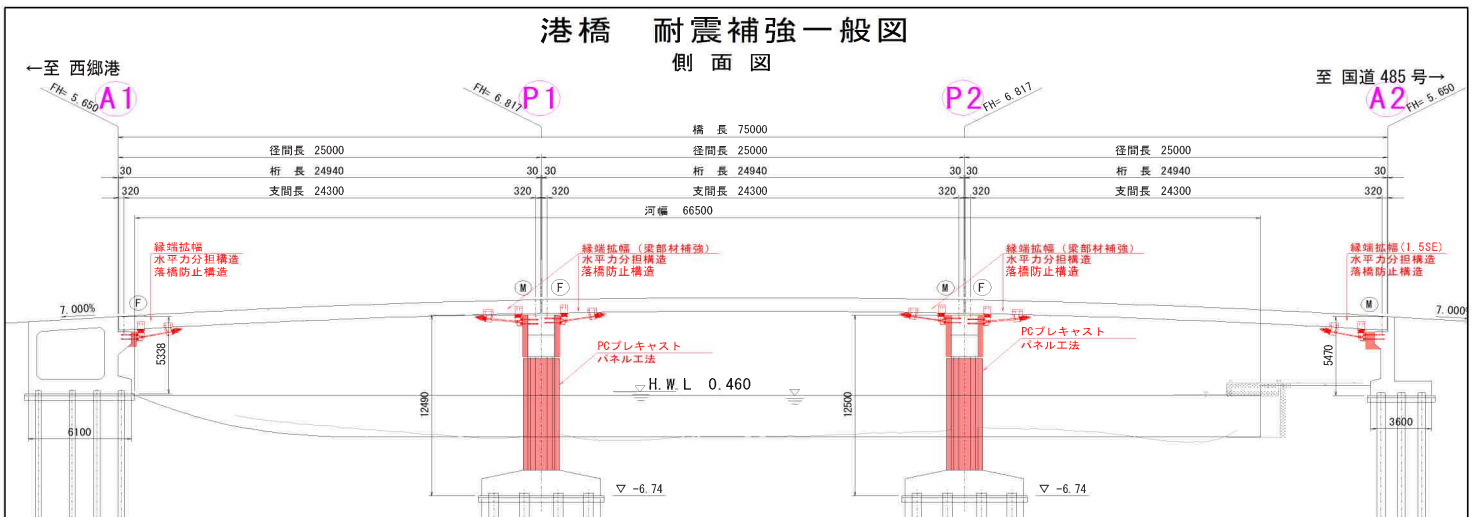
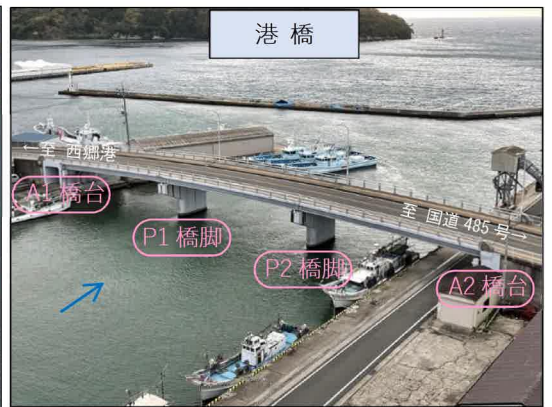
『港橋』の耐震補強工事を行っています

西郷漁港は、隠岐の島町の南部に位置する県管理の第3種漁港で、水産物の集出荷の拠点として、また、隠岐諸島周辺漁場で操業するまき網、イカ釣り、底びき網、カニかご等、漁船の基地港として生産拠点漁港に位置付けられています。

西郷漁港の「港橋」は、昭和47年に建設された、隠岐島後の玄関口である西郷港と一般国道485号を結ぶ臨港道路に架かる、橋長75.0mの3径間プレキャスト合成桁橋です。

本橋は建設から50年以上が経過し、耐震性能が不十分であるため地震等の被災により水産物の生産・流通機能に支障を及ぼす恐れがあり、耐震性能の確保が課題となっていました。

このため、令和3年度から耐震補強工事に着手しており、令和4年度に上部工の落橋防止対策が完了し、現在は2基ある橋脚の耐震補強(PCプレキャストパネル工法)を、事業加速円滑化国債を活用して令和7年度の完了を目指し順次行っています。



橋脚巻立てのイメージ

(PCプレキャストパネル工法概要図)

全国街道交流会議第13回全国大会山陰大会が 開催されました

道路建設課

山陰大会について

令和6年2月17日に安来市総合文化ホールアルテピアで全国街道交流会議第13回全国大会山陰大会が開催されました。

国や両県自治体、経済団体等で構成される実行委員会が主催し、約600名の方が参加されました。

「小泉八雲の物語でつなぐ山陰」をテーマとして、小泉八雲の文学作品と足跡をたどり、圏域の価値を確認し、道がもつ現代の役割と持続可能な未来への可能性を模索することで、文化資源を活かした広域連携・交流による道づくり・まちづくり等について理解を深めました。

パネルディスカッション

松江市長・安来市長・出雲市長・米子市長・境港市長により、中海・宍道湖・大山圏域の将来像をテーマにパネルディスカッションが行われ、各市の魅力や強み及び次世代にどんな地域を残したいかについて、意見が交わされました。



パネルディスカッション「中海・宍道湖・大山圏域の将来像」

事業報告・基調講演・特別公演

事業報告では、小泉八雲ゆかりの地 山陰で学ぶSDGsバスツアー新聞の表彰式と新聞を作成した児童の発表が行われました。

「小泉八雲の物語でつなぐ山陰～文化資源として活かす作家と文学～」をテーマに、小泉凡氏(小泉八雲記念館館長)による基調講演が行われました。

また、佐野史郎氏・山本恭司氏による「小泉八雲朗読のしらべ～八雲彷徨～」の特別公演が行われました。



小泉凡氏による基調講演



佐野史郎氏・山本恭司氏による特別公演

総括・閉会セレモニー

上定松江市長より下記の提言がなされ、次回開催地である三島市(静岡県)の豊岡市長へ大会旗が引き継がれました。

【提言】

- ・小泉八雲の精神を受け継ぎ、各地の魅力を「文化資源」と認識して最大限活かすとともに、住む人、訪れる人が「オープンマインド」を持って積極的に交流することにより、地域ならではのブランド力を強化し、それぞれの「交流資源」としての価値を高めること。
- ・圏域を「8の字」にむすぶ高規格道路「中海・宍道湖8の字ルート」などの社会インフラ整備を通じて、人々の周遊に伴う地域の活性化、経済・産業の振興、他の都市圏との広域交流の活性化を実現すること。

「道路ふれあい月間」推進標語を募集します

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進していますが、この一環として、令和6年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集しています。

◇令和5年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです

○最優秀賞（3作品）

気持ちいい 道路であいさつ にっこにこ

山梨県 長沼 結那 さん（小学生の部）

この道は みんなをつなぐ 赤い糸

京都府 田中 勇樹 さん（中学生の部）

ゆずりあい ふわり優しさ 積もる道

東京都 河野 喜幸 さん（一般の部）

◎最優秀賞3作品のうち「気持ちいい 道路であいさつ にっこにこ」が代表標語です。

◇募集テーマ

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、次世代に受け継いでいきましょう。

◇募集要領

- ・募集資格 小学生以上の方から応募できます。
- ・応募期間 令和6年3月22日（金）まで（当日必着）
- ・応募部門・賞 3部門（小学生の部・中学生の部・一般の部（高校生以上））
部門ごとに最優秀賞1作品、優秀賞2作品
- ・応募方法 電子メール又ははがき ※1人2作品まで応募できます。
- ・入賞作品の発表・使用
入賞作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。
- ・表彰 「道路ふれあい月間」期間中に国土交通省から賞状及び楯を贈呈します。
- ・その他 応募作品の返却はいたしません。
入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
本募集で取得した個人情報、入賞の作品の連絡・発表、表彰式のご案内にのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

- ・主催 国土交通省
- ・応募先 郵便番号100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて
(応募用アドレス:hqt-dourofureaigekkan128@gxb.mlit.go.jp)
- ・問い合わせ先 国土交通省道路局道路交通管理課 総務係 03-5253-8111
(内線 37423)